

生タイプ

セメント系高流動無収縮材グラウト材

エッセイバー® G

(標準型・高強度型)

▶ エッセイバーGの特長

高流動

3mm 間隙注入試験



エッセイバーGは高い水平流動性および自己充填性があります。3mm 程度の小間隙への注入・充填が容易です。

生タイプ

エッセイバーGは生コン方式で供給する生タイプの製品です。専用プラントで製造したグラウト材を現場まで生コン車で納入致します。



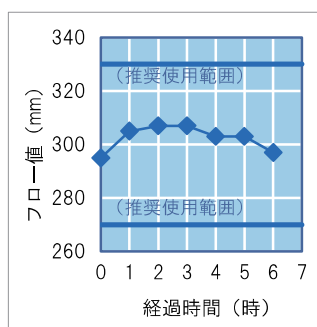
荷姿：生コン車 (1.0 ~ 4.5m³/車)

流動性の保持

エッセイバーGは、年間を通じて注水から6時間の流動性保持時間があります。

このため生コン方式が可能で、品質の安定したグラウト材を大量に供給することができます。

長距離圧送や長時間作業でもスムーズに施工でき、予期せぬ現場トラブルのリスクを軽減します。

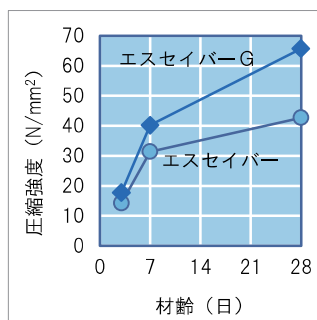


高強度

エッセイバーGは、エッセイバーよりも水結合材比が小さく、高強度型です。

材齢 28 日での圧縮強度は、20°C封かん状態で 50N/mm² 以上が発現します。

また、主原料に高炉セメントを使用しているため、材齢 28 日以降も長期的に強度が増進します。



ノンブリーディング

・無収縮

エッセイバーGには、ブリーディングや材料分離が発生しません。また硬化した後は適度な膨張を呈し、長期的に無収縮を保ちます。

施工性

適度な粘性があり、打ち下ろしやトレミーによる水中注入等、様々な施工方法に対応できます。可使時間が長いため、大量打設や長距離圧送には特に適しています。

▶ 適した用途

- 橋脚の鋼板巻立補強
- 各種基礎グラウト工事
- 各種構造物の隙間充填
- 長距離圧送、長時間作業のグラウト工事
- 数mm程度の小間隙充填工事
- その他グラウト工事一般

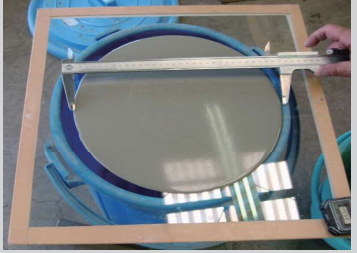
▶ 材料および配合

- 使用材料
 - ・セメント : 高炉セメントB種
 - ・骨材 : 石灰石細骨材
 - ・混和材 : 高性能減水剤、増粘剤、消泡剤
- 標準的な配合
 - ・水結合材比 : 40 ~ 45%
 - ・砂結合材比 : 1.1
 (配合は目安であり、季節によって若干変動します)

▶ エッセイバーGの物性値（20℃環境での室内試験値）

		試験値	社内品質基準	試験方法
水結合材比		44%	—	—
単位容積質量 (g/cm ³)		2.15	—	JIS A 1116
フロー値 (mm)		295	270～330	簡易テーブルフロー試験 (φ5×10cm)
J14 漏斗値 (秒)		11.8	—	JSCE-F541
凝結時間	終結	17:30	—	JIS R 5201
ブリーディング率 (%)	24hr	0.0	0.0	JSCE-F522
膨張率 (%)	24hr	0.0	0.0	JSCE-F522
圧縮強度 (N/mm ²)	3日	17.7	—	JSCE-G505
	7日	40.2	—	
	28日	65.7	50以上	

※簡易テーブルフロー試験



建築改修工事管理指針（下巻）に規定される流動性の評価試験方法で、高流動コンクリートのスランプフロー試験に相当する。
φ5×10cmの円筒容器を用いて試料の広がりの直径をフロー値とする。流動性が高いほどフロー値は大きくなる。

※上記の物性値は恒温室で試験した測定例であり、性能を保証するものではありません。また改良のため予告なく変更する場合があります。

▶ 使用上の留意事項

- ◆ エッセイバーGは、高流動モルタル専用で厳密な品質管理のもとで製造されています。現場での加水等は絶対に行わないで下さい。
- ◆ エッセイバーGは流動性が極めて高いため、型枠のわずかな隙間から漏れ出すおそれがあります。施工時は型枠等に隙間が生じないように、特に型枠下部の組み立てには注意してください（1mm程度の間隙であれば漏出は止まります）。また液圧（単位容積質量 × 打設高さ）を考慮して、型枠等のハラミ防止の対策をお願い致します。
- ◆ 施工後に著しい乾燥を受けると、痩せやクラックを生じる危険があります。激しい通風や直射日光が当たる部位には、適切な養生を行って下さい。また暴露状態におかれる部位には、防水性の樹脂等の材料で表面をコーティングし、乾燥を防止して下さい。
- ◆ 外気温が著しく低い場合には、5℃以上となるよう保温養生を行って下さい。
- ◆ 現場で採取した圧縮強度用供試体は、採取直後にラップ等で密封して水分蒸発を防いで下さい。

▶ 安全上の注意事項

- ・ 本製品を取り扱う際には、安全データシート（SDS）をお読み下さい。
- ・ 取扱いの際には、ゴム手袋等の保護具を着用して下さい。
- ・ 本製品はセメントを使用していますのでスラリーは強いアルカリ性を示します。長時間皮膚に付けないよう、目や鼻や口に入れないようご注意ください。万一入った場合は直ちによく洗浄し、症状に応じて専門医の診断を受けて下さい。
- ・ その他ご不明な点がございましたら弊社までお問い合わせ下さい。

（2017年9月1日改定）

日鉄住金高炉セメント株式会社

東京グループ 〒104-0033 中央区新川1丁目16番14号（アクロス新川ビルアネックス1F） ☎03-3523-0947～8
 名古屋グループ 〒450-0002 名古屋市中村区名駅4丁目26-13（ちとせビル8F） ☎052-485-5748
 大阪グループ 〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2丁目3番3号（桜橋西ビル9F） ☎06-6342-5880
 九州グループ 〒812-0025 福岡市博多区店屋町5番18号（博多NSビル2F） ☎092-283-0311
 本社SL事業部 〒803-0801 北九州市小倉北区西港町16番地 ☎093-563-5118

